百敷の大宮人もき、つぎて鬼おふほどに夜は成にけり

〔夫木和歌抄十八歳暮〕楳子内親王家歌合　宣旨

ふる年といふなをやらふをとたかみ春をいとふと人やきくらん

○、

土牛童子

〔公事根源十二月〕立土牛童子像　大寒日

大寒の日、夜半に陰陽師土牛童子の像を門口にたつ、陽明、待賢門は青色の土牛をたつ、美福、朱雀門には赤色なり、談天、藻壁門は白色なり、安嘉、偉鑒門には黒色也、郁芳、皇嘉、殷富、達智の四門には黄色をたつるなり、青色は春の色、ひんがしにたつ、赤色は夏のいろ、南にたつ、白色は秋のいろ、西にたつ、黒色は冬の色、北にたつ、四方の門に、また黄色の土牛をたてくはふるは、中央土のいろなり、木火金水に土ははなれぬ理有、慶雲二年天下疫癘さかりにして、百姓おほくうせたりしかば、土牛をつくり追儺といふ事はじまりき、異國の書には、農事のために時をしめさんとて、土牛を立るよし見えたり、

〔禮記註疏十七月令〕季冬之月、〇中略命有司大儺、旁磔出土牛以送寒氣、註、此難難陰氣也、難陰始於此者、陰氣右行、此月之中、日歷虛危、虛危有墳墓四司之氣、爲厲鬼將隨強陰出害人也、旁磔於四方之門、磔攘也、出猶作也、作土牛者、丑爲牛、牛可牽止也、送猶畢也、

〔年中行事秘抄十二月〕大寒日夜半諸門立土牛童子像事

陽明、待賢門、青　美福、朱雀門、赤　郁芳、皇嘉、殷富、達智門、黄　安嘉、偉鑒門、黒　談天、藻壁門、白　弘仁陰陽式云、凡土牛童子像請内匠寮大寒之日前夜半時立於諸門、縣犬養、山二門各青色、壬生、大伴二門赤色、建部、若犬養、伊福部、丹治比四門黄色、玉手、佐伯二門白色、海犬養、猪使二門黒色也、

〔延喜式十六陰陽〕凡土牛童子等像請内匠寮大寒之日前夜半時立於諸門、陽明、待賢二門各青色、美福、朱雀二門赤色、郁芳、皇嘉、殷富、達智四門黄